

2022年度支部共通事業 日本建築学会設計競技

課題

「『他者』と ともに生きる建築」

応募要領

主催：日本建築学会

後援：日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会（以上、予定）

「他者」に想いを巡らせ、「他者」と関わり合うことは、生きていく上でなくてはならないことである。もちろん私たちが属する地域や社会は、日々「他者」とともにあるが、「他者」を介して自らを知り、また自らが変わっていくことこそ、この関わり合いが齎す最大の価値である。では、このような「他者」とともに生きることは、果たして現代において実現できているだろうか。建築や都市は、それを後押しできているだろうか。

ところで「他者」は、もともと「自分以外の、ほかの者」（広辞苑）を指していたが、近年では自分以外の家族や自然、動植物など、自らがコントロールできない存在にも拡張して使われている。それは恐らく人間が、こうした存在をコントロール可能な対象と捉えて振る舞うか、もしくは排除してきた社会への問い直しの表れであろう。住宅は、「自己」のためにつくられ、公共施設は、「個」が「公」からのサービスを受ける場に成り下り、自然は、建築を彩る装飾に矮小化している状況に対し、家びらきやシェア、『動いている庭』（ジル・クレマン）など、様々な試みもすでに実践されているが、ここではさらにその先を考えてみたいと思う。

コントロールできない「他者」を受け入れ、そして自らも変わっていくような動的な状態を受け止める建築や都市は、いかなるものだろうか。自分にとっての「他者」を具体的に想定し、ともに生きるための建築、都市を考えてみてください。

審査委員長 千葉 学

A. 課題

「他者」とともに生きる建築

B. 条件

実在の場所（計画対象）を設定すること。

C. 応募資格

本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一代表名で複数の応募をすることはできない。

※未入会の場合は、[こちら](#)から入会手続きを完了したうえで応募すること。ただし、口座振替の場合は、**2022年4月20日(水)までに入会手続きを完了すること。**（応募期間と異なるためご注意ください。）

※未入会者、2022年度会費未納者ならびにその該当者が含まれるグループの応募は受け付けません。応募時までに完納すること。

D. 提出物

下記3点を提出すること。

a. 計画案のPDFファイル

以下の①～④をA2サイズ（420×594mm）2枚に収めた後、A3サイズ2枚に縮小したPDFファイル。（解像度は350dpiを保持し、容量は合計20MB以内とする。PDFファイルは1枚目が1ページ目、2枚目が2ページ目となるように作成する。A2サイズ1枚にはまとめないこと。）模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現すること。

- ① 具体的に想定した「他者」を示すこと
- ② 設計主旨（文字サイズは10ポイント以上とし、600字以内の文章にまとめる）
- ③ 計画条件・計画対象の現状（図や写真等を用いてよい）
- ④ 配置図、平面図、断面図、立面図、透視図（縮尺明記のこと）

b. 作品名および設計主旨のWordファイル

「a. 計画案のPDFファイル」に記載した作品名と設計主旨の要約（200字以内とし、図表や写真等は除く）をA4サイズ1枚に収めたWordファイル。なお、容量は20MB以内とする。

c. 顔写真のJPGファイル

横4cm×縦3cm以内で、共同制作者を含む全員の顔が写っているもの1枚に限る。なお、容量は20MB以内とする。

※提出物は、入選後に刊行される『2022年度日本建築学会設計競技優秀作品集』（技報堂出版）および『建築雑誌』の入選作品紹介の原稿として使用します。

E. 注意事項

- ① 2021年度より、応募方法がWeb応募に変更となりました。募集ページに掲載する「応募サイト」上での応募者情報の入力および提出物のデータ送信をもって応募となります。締切後の訂正は一切できず、提出物のメール添付やCD-R等での郵送、持参は受け付けません。※詳細は「F. 応募方法および応募期間」や募集ページ参照。
- ② 応募要領の公開後に生じた変更事項や最新情報については、随時募集ページ上に掲載します。実際に応募する前に確認してください。
- ③ 「D. 提出物」には、氏名・所属などの応募者が特定できる情報（ファイル作成者等も含む）を記載してはいけません。なお、提出物は返却いたしません。
- ④ 応募作品は、未公開で未発表の応募者自身によるオリジナル作品であること。他の設計競技等へ過去に応募した作品や現在応募中の作品（二重応募）は応募できません。
- ⑤ 応募作品は、全国二次審査会が終了するまで、あらゆる媒体での公開や発表を禁じます。
- ⑥ 入選者には、入選者の負担で展示パネル等を作成していただく場合があります。
- ⑦ 応募要領に違反した場合は受賞を取り消す場合があります。
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症等の影響により、全国二次審査会の開催方法等を変更する場合があります。

F. 応募方法および応募期間

① 応募方法

後掲の募集ページへ掲載する要領等を確認のうえ、「応募サイト」より応募ください。

② 応募支部

「応募サイト」の“応募支部”では、計画対象の所在地を所轄する本会各支部を選択してください。例えば、関東支部所属の応募者が計画対象の所在地を東北支部所轄地域内に設定した場合は、東北支部を選択してください。計画対象の所在地を海外に設定した場合は、応募者が所属する支部を選択してください。応募先の支部にて支部審査を行うため、応募支部に誤りのある場合は、審査対象外となる場合もありますのでご注意ください。なお、本会各支部の所轄地域は、「J. 問合せ」②をご参照ください。

募集ページ:

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=654217>

③ 応募期間

2022年5月13日(金)～6月13日(月) 16:59(厳守)

G. 審査方法

① 支部審査

応募作品を支部ごとに審査し、応募数が15件以下は応募数の1/3程度、16～20件は5件を支部入選とする。また、応募数が20件を超える分は、5件の支部入選作品に支部審査委員の判断により、応募数5件ごと(端数は切り上げ)に対し1件を加えた件数を上限として支部入選とする。

② 全国審査

支部入選作品をさらに本部に集め全国審査を行い、「H. 賞および審査結果の公表等」の全国入選作品を選出する。

1) 全国一次審査会(非公開)

全国入選候補作品とタジマ奨励賞の決定。

2) 全国二次審査会(公開) ※オンライン開催を予定。詳細未定。

全国入選候補者によるプレゼンテーションを実施し、その後に最終審査を行い、各賞と佳作を決定する。代理によるプレゼンテーションは認めない。なお、タジマ奨励賞のプレゼンテーションは行わない。

・日時(予定): 2022年9月13日(火) 13:00～

・場所(予定): オンライン

・プログラム(予定):

13:00～ 全国入選候補者によるプレゼンテーション

15:00～ 公開審査

17:00～ 結果発表

③ 審査員(敬称略順不同)

<全国審査員>

委員長: 千葉 学(東京大学教授)

委員: 赤松佳珠子(法政大学教授)

蟻塚 学(蟻塚学建築設計事務所代表取締役)

貝島桃代(スイス連邦工科大学チューリッヒ校教授)

高野洋平(MARU. architecture共同主宰)

前田圭介(近畿大学教授)

柳沢 究(京都大学准教授)

<支部審査員>

・北海道支部

赤坂真一郎(アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役)

久野浩志(久野浩志建築設計事務所代表)

小西彦仁(ヒココニシアーキテクチャ代表取締役)

松島潤平(北海道大学准教授)

山田 良(札幌市立大学教授)

山之内裕一(山之内建築研究所代表)

・東北支部

齋藤 光(はりゅうウッドスタジオ・パートナー)

坂口大洋(仙台高等専門学校教授)

田澤絃子(宮城大学特任助教)

手島浩之(都市建築設計集団/UAPP代表取締役)

濱 定史(山形大学助教)

・関東支部

落合正行(日本大学助教)

海法 圭(海法圭建築設計事務所代表取締役)

都築良典(大林組本社設計本部本部長室部長)

宮部裕史(NTTファシリティーズ都市・建築設計部建築設計部門部長)

村山 徹(ムトカ建築事務所共同代表)

・東海支部

岩月美穂(studio velocity一級建築士事務所共同主宰)

小野寺一成(三重短期大学教授)

佐々木勝敏(佐々木勝敏建築設計事務所代表)

白川 在(金城学院大学准教授)

夏目欣昇(名古屋工業大学准教授)

・北陸支部

佐藤考一(金沢工業大学教授)

清水俊貴(福井工業大学准教授)

棒田 恵(新潟大学助教)

梅干野成央(信州大学准教授)

宮下智裕(金沢工業大学准教授)

横山天心(富山大学准教授)

・近畿支部

落合知帆(京都大学准教授)

小幡剛也(竹中工務店大阪本店設計部第3設計部長)

三宗知之(東畑建築事務所本社オフィス大阪副代表)

南浦琢磨(安井建築設計事務所大阪事務所設計部部長)

吉岡聡司(大阪大学准教授)

・中国支部

岡松道雄(山口大学教授)

土井一秀(近畿大学准教授)

中藪哲也(広島大学准教授)

原 浩二(原浩二建築設計事務所所長)

向山 徹(岡山県立大学教授)

・四国支部

東 哲也(建築設計群無垢取締役)

齊藤 正(齊藤正毅工房代表取締役)

中川俊博(中川建築デザイン室代表取締役)

二宮一平(二宮一平建築設計事務所所長)

・九州支部

西村謙司(日本文理大学教授)

古森弘一(古森弘一建築設計事務所代表取締役)

宮崎慎也(福岡大学准教授)

安武敦子(長崎大学教授)

山田浩史(北九州市立大学講師)

H. 賞および審査結果の公表等

① 賞

1) 支部入選: 支部長より賞状および賞牌を贈る(ただし、全国入選者・タジマ奨励賞は除く)。

- 2) 全国入選：次のとおりとする（合計12件以内）。
- ・最優秀賞 2件以内
賞状・賞牌・賞金（計100万円）
 - ・優秀賞 数件
賞状・賞牌・賞金（各10万円）
 - ・佳作 数件
賞状・賞牌・賞金（各5万円）
- 3) タジマ奨励賞：タジマ建築教育振興基金により、支部入選作品の中から、準会員の個人またはグループを対象に授与する（10件以内）。
- 賞状・賞牌・賞金（各10万円）

② 審査結果の公表等

- ・支部審査の結果：各支部より応募者に通知（7月14日以降予定）
- ・全国審査およびタジマ奨励賞の結果：本部より全国一次審査結果を支部入選者に通知（8月上旬）
- ・全国入選作品・審査講評：『建築雑誌』ならびに本会 Web サイトに掲載

I. 著作権

応募作品の著作権は、応募者に帰属する。ただし、本会および本会が委託したものが、この事業の主旨に則して『建築雑誌』または本会 Web サイトへの掲載、紙媒体出版物（オンデマンド出版を含む）および電子出版物（インターネット等を利用し公衆に送信することを含む）、展示などでの公表等に用いる場合は、無償でその使用を認めることとする。

J. 問合せ

① 応募サイトに関する問合せ

- ・日本建築学会 支部共通設計競技 電子応募受付係
TEL 03-3456-2056
E-mail sskoubo@aij.or.jp

② その他の問合せ、各支部事務局一覧 [計画対象地域]

- ・日本建築学会 北海道支部 [北海道]
TEL 011-219-0702
E-mail aij-hkd@themis.ocn.ne.jp
- ・日本建築学会 東北支部 [青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島]
TEL 022-265-3404
E-mail aij-tohoku@nth.biglobe.ne.jp
- ・日本建築学会 関東支部 [茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨]
TEL 03-3456-2050
E-mail kanto@aij.or.jp
- ・日本建築学会 東海支部 [静岡、岐阜、愛知、三重]
TEL 052-201-3088
E-mail tokai-sibu@aij.or.jp
- ・日本建築学会 北陸支部 [新潟、富山、石川、福井、長野]
TEL 076-220-5566
E-mail aij-h@p2222.nsk.ne.jp
- ・日本建築学会 近畿支部 [滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山]
TEL 06-6443-0538
E-mail aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp

- ・日本建築学会 中国支部 [鳥取、島根、岡山、広島、山口]
TEL 082-243-6605
E-mail chugoku@aij.or.jp
- ・日本建築学会 四国支部 [徳島、香川、愛媛、高知]
TEL 0887-53-4858
E-mail aijsc@kochi-tech.ac.jp
- ・日本建築学会 九州支部 [福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄]
TEL 092-406-2416
E-mail kyushu@aij.or.jp

【優秀作品集について】

全国入選・支部入選作品は『日本建築学会設計競技優秀作品集』（技報堂出版）に収録し刊行されます。過去の作品集も、設計の参考としてご活用ください。

<過去5年の課題>

- ・2021年度「まちづくりの核として福祉を考える」
- ・2020年度「外との新しいつながりをもった住まい」
- ・2019年度「ダンチを再考する」
- ・2018年度「住宅に住む、そしてそこで稼ぐ」
- ・2017年度「地域の素材から立ち現れる建築」

<詳細・販売> 技報堂出版 <https://gihodbooks.ssslserve.jp/>